

1人ひとりができること
デング熱・ジカ熱予防対策！



蚊をふやさない！！ 蚊にさされない！！



防蚊対策！トラの巻～！

その1、ふやさない！



植木鉢の皿、
野外に放置された子どものおもちゃ・じょうろ・
空き缶・ビン・タイヤ・ビニールシートなどの
小さな水たまりを無くしましょう。

★ヒトスジシマカは、空き缶にたまった雨水など、小
さな水たまりを好んで卵を産み付けます。1人ひとり
が小さな水たまりをなくすことで、発生する蚊の数を
減らすことができます。

その2、さされない！



長袖シャツ・長ズボン、蚊帳、
虫除け剤、蚊取り線香などで
蚊に刺されない、寄せ付けない工夫を
しましょう。
海外でも気をつけて！



蚊が
うつす病気

かばいかい かんせんしょう 蚊媒介感染症って？

○ どんな病気？

蚊媒介感染症（かばいかい かんせんしょう）とは、ウイルスなどを持っている蚊に刺されることによりうつる感染症（病気）のことです。

日本に持ち込まれ、発生する可能性のある感染症は、デング熱、チクングニア熱、ジカ熱（ジカウイルス感染症）、ウエストナイル熱、日本脳炎、マラリアなどです。

その中でも、デング熱、ジカ熱などは、国内に広く分布するヒトスジシマカが媒介することが知られているため、海外でかかった人が帰国又は入国する例をきっかけにして、国内での感染が拡大する可能性があります。

ウイルスに感染した人を蚊が吸血すると、蚊の体内でウイルスが増殖し、その蚊が他の人を吸血することで感染します。

《ヒトスジシマカ》

ヤブ蚊とも呼ばれ、日本での発生は、5月から10月頃とされています。



○ 世界のどこで流行していますか？

世界的に蚊から感染する感染症は多く発生し、特に熱帯・亜熱帯地域で広く流行しています。流行地域に行くときには、蚊に刺されない事が大切です。（出かける前に情報確認！）



【デング熱】

潜伏期（多くは）3～7日の後、急な発熱（高熱）や関節の痛み、目の奥が痛くなるといった症状があらわれます。通常1週間程度で回復しますが、まれに重症化することがあります。

【ジカ熱（ジカウイルス感染症）】

潜伏期（多くは）2～7日の後、軽度の発熱、発疹、結膜炎、関節痛などの症状があらわれます。症状は軽く、2～7日続いた後に治り、予後は比較的良好な感染症です。しかし、妊婦が感染すると胎児に小頭症などの先天性障害を起こす可能性があるといわれています。性行為で感染する可能性もあります。

★潜伏期間は、最長で2週間程度です。

★感染しても、全ての人に症状がでるわけではありません。

★ウイルスに対する特有の薬はありませんので、対症療法となります。有効なワクチンもありません。

防蚊対策

!! 蚊を増やさない(蚊を発生させない)

- 家の周りの小さな水たまりを減らす。
植木鉢やプランターの水の受け皿、庭先に置き忘れたバケツや子どものおもちゃ、放置されている空きビンや缶、古タイヤ、ビニールシートのくぼみなどにたまっている水を捨てる。



!! 蚊に刺されない

- 外に出るときは皮膚が露出しないように、
長袖シャツ、長ズボンを着用し、適切に虫除け剤を使用する。
- 家の中へ蚊が入らないように窓や扉の開閉を少なくする。（蚊帳も有効です。）
- 蚊取り線香などの殺虫剤を適切に利用する。



みんなができること。みんなで協力しましょう！

★詳しい情報は厚生労働省または群馬県のホームページをご覧ください。

デング熱

検索

群馬県

